

平成25年度就農促進対策助成事業

事業主体名 霧島市立国分中央高等学校

1 目的

農業に対する興味・関心を高めるとともに、農業の持つ可能性や必要性、環境保全に対する意識を高め、総合的な視野に立ち農業全般を広い視野で展開できる能力や態度を育成する。

2 実施状況

(1) 農業体験講話

12月13日（金）本校にて、霧島製茶株式会社の林 修太郎氏に講師を依頼し、「お茶の昔と今」というテーマで、園芸工学科の生徒を対象に講話をしていただいた。生徒は熱心に聞き、多くの質問があり、農業に対して興味・関心を深めることができた。また、自分の生き方や考えを見つめる契機になり、進路選択の参考になった。



(2) 営農の門出を励ます会

営農の門出を励ます会を2月3日（月）に本校で行った。参加者は営農予定者6人と始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課課長さんを始め、農業関係機関から5人、園芸工学科全員の計約130人であった。農業関係機関の課長さんによる励ましの言葉や営農予定者が抱負を述べて決意を表した。また、営農予定者に記念樹を授与し、最後は全員で乾杯（霧島茶）をして営農予定者を送り出した。



3 今後の課題及び取組

入学生の殆どが非農家の生徒になったが、農業生産法人への就職や農業大学校への進学を考えている生徒はいる。そこで、農業に関する興味・関心を持たせる取組を発展・展開していく必要がある。具体的には視察研修の内容や場所、及び農業体験講話の講師の選定、さらに新しい事業を取り入れることによって、農業関係職種への従事者を増やしていく必要がある。